

シンリムカ 文化財だより

平取町立二風谷アイヌ文化博物館・沙流川歴史館

2024. 4. 26

No. 22

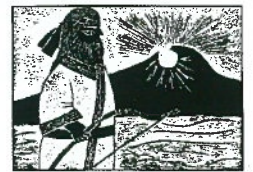


オプシヌプリ

— 文化的景観解説サインの紹介 8 —

にぶたに湖の右岸側の山林には特徴的な地形があります。そのひとつがオプシヌプリです。もともとは円い穴があいていましたが、現在は半円状のくぼみとなっています。夏至の前後数日は、このくぼみに夕日が沈む姿が見られます。毎年、オプシヌプリ観賞会が行われています。6月の夏至はまだ先ですが、葉がまだ生い茂っていない時期は地形を観察し、くぼみを見るのに良い時期と言えます。オプシヌプリに伝わる伝承はいくつかの記録があります。地域住民によって制作された『オプシヌプリの伝説』という絵本は伝承のひとつを分かりやすく描いており、またスチレン版画という技法が用いられており味わい深い絵本です。オプシヌプリは流域の自然地形が伝承によって意味をもつという、平取らしい文化的景観です。 (山本雄)

オプシヌプリの伝説



伝えたい物語実行委員会



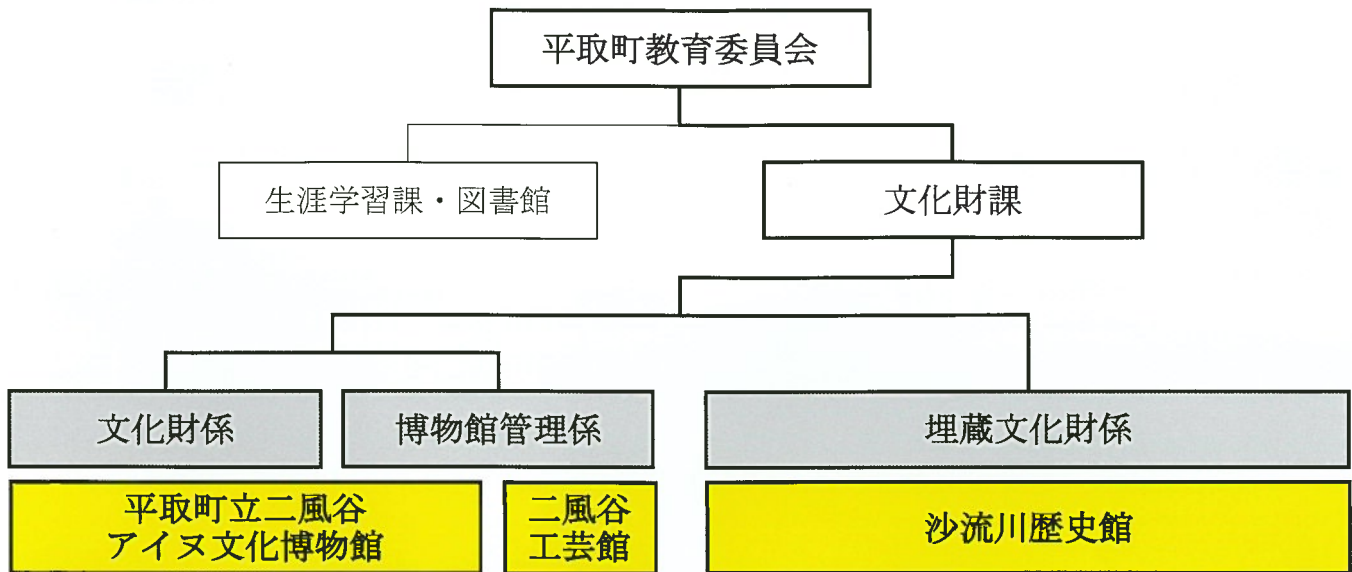
☎ 442 829 419 75 (看々橋下流側の駐車帯)



サインは、びらとり温泉ゆからの入口に設置されています。サインのQRコードから、詳しい資料を見ることができます。

令和6年度文化財課職員体制

今年度の平取町教育委員会・文化財課の職員体制をお知らせします。



課長・館長 長田 佳宏（文化財係長 / 学芸員）
主 幹 阿部 正子（博物館管理係長）
学芸員 廣岡 絵美（文化財係）
係 員 守屋 李佐子（任期付職員 / 学芸員）
坂本 エミ（文化財係）
藤川 涼子（博物館管理係）
進藤 千賀子（二風谷工芸館）

館 長 長田 佳宏
主 幹 津川 貴晃（埋蔵文化財係長）
係 員 西 希（任期付職員 / 学芸員）
久米 智江（埋蔵文化財係）
佐々木 知代（埋蔵文化財係）
笠原 早百合（埋蔵文化財係）

開拓財産展示施設一般公開（5/1～11/29）

公開期間中の月・水・金の午前中（祝祭日は休館）に開館しています。解説を希望される場合は博物館に問い合わせ願います。



★異動のお知らせ★ お世話になりました。

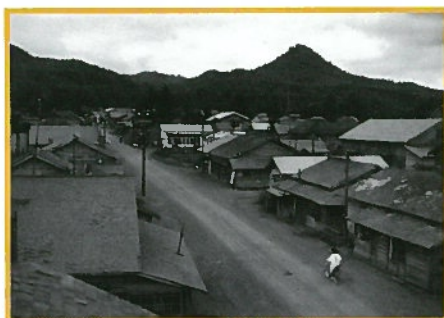
黒川佳美（主幹）→出納室へ
山本雄（係長）→生涯学習課社会教育係へ
大塚公美子（会計年度任用職員）→町民課へ

（坂本エミ）

沙流川歴史館 企画展開催中 4/23～5/26

4月23日（火）より令和6年度沙流川歴史館企画展『写真で見る昭和のびらとり～第3弾～』を開催しています。平成24年度、平成25年度にも開催し、今回は第3弾となります。

昭和時代の町内各地区の街並み、風景等を昭和から令和へと移り行く様子を展示しています。企画展は5月26日（日）まで開催しています。入館は無料です。ゴールデンウィークの連休期間中も開館していますので、ぜひご来館ください。終了後は移動展として、5月28日（火）より貫気別支所、振内町民センター、ふれあいセンターびらとり、開拓財産展示施設の4ヵ所を巡回する予定となっております。（黒川佳美）



昭和34年頃 貫気別市街



昭和50年 北海道犬品評会
(二風谷ドライブイン前)



昭和52～54年頃 本町の郵便局前

日本聖公会北海道教区 150 周年記念事業 二風谷アイヌ文化博物館 第27回特別展 移動展

英国聖公会宣教師ジョン・バチラーの足あと —伝道活動とアイヌ文化研究—

期間：7/10（水）～7/16（火）

場所：札幌キリスト教会（札幌市北8条西6丁目）

2024年は日本聖公会北海道教区150周年にあたります。同教区の記念事業の一環として二風谷アイヌ文化博物館との共催展示を行います。内容は令和3（2021）年度に当館で開催した第27回特別展の移動展とし、ジョン・バチラー（1855-1944）とアイヌの関わりを学ぶ機会とします。

英国聖公会宣教協会から派遣された宣教師であるバチラーは、明治10（1877）～昭和15（1940）年にかけて北海道全域および樺太で基督教の伝道活動を行いました。

本展示では函館、平取、登別、有珠、札幌で地域の協力を得て布教とアイヌ研究に励んだ様子をパネルと映像資料でご紹介します。（廣岡絵美）

バチラーの肖像写真。1933年12月14日札幌にて撮影。写真蔵：遠藤裕昭氏▶



イギリスのジャパンハウス派遣事業⑤

令和5年11月から続いているジャパンハウスロンドン（以下、JHL）での「アイヌ・ストーリーーズ展」ですが、今回は1月～3月に地域住民が渡英して実施したイベントを紹介します。

1月は平取町二風谷アイヌ語教室のメンバーが渡英し、口承文芸の披露や子ども向け・大人向けのアイヌ語ワークショップを行いました。あわせて、二風谷で行われているアイヌ語教室子どもの部の様子、小学校での取組の様子なども紹介し、地域の継承活動の今を知ってもらうことができました。ワークショップでは、参加者が楽しみながらアイヌ語にふれる姿が見られました。また、少数言語（ウェールズ語等）の研究者などとのディスカッションの場もあり、今後につながる有意義なものとなりました。



アイヌ口承文芸の披露



地域における学習の様子の紹介



子ども向けアイヌ語ワークショップの様子

2月は舞踊と食文化を紹介するため、アイヌ文化保存会の方々が渡英しました。食文化を紹介する料理イベントでは、最初に伝統料理や継承活動の様子をスライドで紹介し、その後にオハウづくりの実演を行いました。参加者は試食用に用意されたオハウを円卓で楽しみました。保存会のメンバーも JHL の職員とともに配膳し、イベントの最後にはホリッパ（輪踊り）で締めくくりとなりました。渡英した地域の人々によるアイヌプリ（アイヌ風）のおもてなしを、参加者に感じていただけたと思います。



食文化イベント オハウの試食



最後は参加者全員でホリッパによる締めくくり

2月の最終日には、平取町で取り組まれているアイヌ施策を紹介するイベントが実施されました。町職員によるアイヌ施策の概要、そして実際に業務に携わる地域住民がどのような考えや思いをもって取り組んでいるか、などがスライドを用いて紹介されました。国の関係機関などと地域住民が協働して、文化継承の努力を続け、施策に取り組んでいることを伝えることができました。



施策紹介イベントの様子

3月は二風谷民芸組合の方々が渡英し、アイヌ工芸に関するイベントを実施しました。アイヌ工芸のデモンストレーションでは、北海道大学の山崎幸治教授が文様などに関する解説を行い、その後イタとイナウづくりの実演が行われました。質問も多く寄せられ大変好評でした。関根健司氏・関根摩耶氏による展示のギャラリーツアーには約30～40名の人が集まり、地域の生の声に耳を傾けました。刺しゅうと木彫のワークショップは、JHLで5回、オックスフォードにあるアシュモレアン博物館で4回実施し、多くの人にアイヌ工芸の一端を知ってもらうことができました。

11月～3月の間、延べ40名程度の地域住民が渡英しイベントを実施しました。JHLによるとアイヌ・ストーリーズ展の入場者は3万人以上、イベント参加者数は1000人を超えたとのこと。協力をいただいた皆様、ありがとうございました。

(山本 雄)



アイヌ工芸のデモンストレーション



JHLでの刺しゅうワークショップ



アシュモレアン博物館での木彫ワークショップ



「アイヌ・ストーリーズ展」のギャラリーツアー

沙流川流域の野鳥たち No.10

スズメ目ヒバリ科

観察難易度：★☆☆☆

ヒバリ

学名：Alauda arvensis

英語名：Eurasian Skylark

漢字名：雲雀

大きさ 全長 17 cm

時期 春を告げる鳥とされているが、北海道では夏鳥。

特徴 スズメより細身で少し大きい。雌雄同色。頭頂から体上面は褐色で黒斑がある。眉斑、体下面は白っぽく、胸に褐色の縦斑がある。頭部に冠羽があり、さえずっているときなどに立つが、寝かせていることが多い。

生息場所 平野部の農耕地や草地、河川敷など

行動 春先の繁殖期には複雑にさえずりながら空高く舞い上がり、ホバリングして縄張り宣言する「^あ揚げ雲雀」行動で知られる。姿が見えないほど高く上がる。草地の目立たない場所の窪みに巣をつくる。巣に外敵が近づくと、怪我で飛べないふりをする^{ぎしょう}擬傷行動をとり、相手の注意を巣からそらそうとする。

鳴き声 地鳴き“ビュルッビュルッ”

さえずり“ピチチチュクチュクビチチ、チーチーチー

チー、ピチピチ…”などの音を組み合わせで長く複雑に鳴く

ヒバリの鳴き声を
聞いてみよう！



さえずりー地鳴き

『ぱっと見わけ 観察を楽しむ
野鳥図鑑』より掲載

アイヌ文化との関わり

ヒバリはアイヌ語で、チャランケチカッ【ca-ranke-chikap（談判する-鳥）】やリコチリポ【rik-o-cirpo（高所-に行く-小鳥）】などと呼ばれてます（地域で呼び名が違う）。生き物の鳴き声を、人間の言葉にあてはめて聞くことを「聞きなし」と言いますが、アイヌ文化ではヒバリの鳴き声をまねた早口言葉や歌があります。アイヌの伝承では、「ヒバリは太陽の神様にものを貸しているの、それを返してくれと文句を言いながら高く飛んでいくのです。でも太陽ほどは高く飛べないので、途中であきらめて降りて来て、ゴモラゴモラゴモラとなさけない声を出しているのです。」というお話があります。（佐々木知代）



老松勝則氏（平取町）提供写真



太田裕子氏（新冠町）提供写真

開拓財産 ～むかしのどうぐ～

【アイヌ民族と近代開拓】

テーマ1：学校(4)

宮城県出身の黒田彦三（1874-1948）は明治15（1882）年に佐瑠太（現日高町富川）へ移住し、独学で教員認定試験を受けました。

明治27（1894）年には平取小学校二風谷分校（現平取町立二風谷小学校）の初代校長¹として赴任します。

当時の二風谷村では皆アイヌ語を使っていたため、黒田はアイヌ語を勉強しつつ子どもたちに日本語を教えていました。

黒田は学校関係の仕事のほか、役場の用足しや医者役、家庭内の問題解決のためにも奔走しました。また、二風谷青年会の設置、二風谷青年会図書館の建設など、地域の社会教育活動を支え、昭和2（1927）年に二風谷尋常小学校²を退職しました。

二風谷小学校の校庭には黒田彦三の頌徳碑が建てられ、その功績が現代に伝えられています。



▲ 平取町立二風谷小学校に掲げられている黒田彦三の肖像写真。2022年撮影。



▲ 二風谷小学校に所在する黒田彦三の頌徳碑。2022年撮影。

『日高の女性史』（婦人日高の会 1989）によると、妻真弓氏は19歳で黒田と結婚し明治39（1906）～昭和2（1927）年まで同小学校で教師を勤めました。氏はクッキーや豚汁、手打ちそばなどを地域住民にふるまい、若者たちの良き理解者としても慕われ、昭和29（1954）年に70歳の生涯を閉じました。

（廣岡絵美）

【脚注】

- 1 明治25（1892）～明治27（1894）年（設立当時）の校長は阿部喜代次。
- 2 明治28（1895）～昭和4（1929）年の校名

平取町開拓財産展示施設（平取町字荷負77-3） 見学のご案内

【開館日時】＊変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日（祝日休館） 8:45～12:45

上記以外の日程のご見学についてはお問合せ下さい。

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892

または 沙流川歴史館 ☎01457-2-4085

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■国際博物館記念事業

ICOM（国際博物館会議）では、5月18日を「国際博物館の日」としています。記念事業の一環として、無料開館および記念品の贈呈を行います。ぜひご来館ください。

日 時：5月18日（土）9:00～16:30

対 象：19人以下の個人

■日本聖公会北海道教区150周年記念事業

二風谷アイヌ文化博物館

第27回特別展移動展

『英国聖公会宣教師ジョン・バチラーの足あと－伝道活動とアイヌ文化研究－』

期 間：7月10日（水）～7月16日（火）

場 所：札幌キリスト教会

（札幌市北8条西6丁目）

シシリムカ文化大学・

二風谷アイヌ文化博物館講座共催

■ジャパン・ハウス ロンドン派遣事業報告会

日 時：5月18日（土）13:00～16:00

場 所：沙流川歴史館レクチャーホール

沙流川歴史館

■企画展

『写真で見る昭和のびらとり【第3弾】』

期 間：4月23日（火）～5月26日（日）

場 所：沙流川歴史館企画展示室

休館日：毎週月曜日

※4月30日、5月6日は開館します

■企画展移動展

◇貫気別支所

期 間：5月28日（火）～6月9日（日）

※土日休館

◇振内町民センター

期 間：6月11日（火）～6月23日（日）

※土日休館

◇ふれあいセンターびらとり

期 間：6月25日（火）～7月7日（日）

◇平取町開拓財産展示施設

期 間：7月10日（水）～8月2日（金）

※月・水・金の午前のみ開館

2024年4月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

2024年5月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

2024年6月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

2024年7月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

● 歴史館休館日

■ 歴史館企画展

※博物館は11月15日まで毎日開館しています



シシリムカ文化財だより No. 22

2024年4月26日発行

編集・発行／平取町教育委員会文化財課

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

北海道沙流郡平取町字二風谷 55

TEL 01457-2-2892

FAX 01457-2-2828

E-mail nah@town.biratori.lg.jp

HP <http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>

アイヌ文化博物館
Facebook 更新中！



沙流川歴史館

北海道沙流郡平取町字二風谷 227-2

TEL 01457-2-4085

FAX 01457-2-4086

E-mail sar.muse@town.biratori.lg.jp

沙流川歴史館
Instagram 更新中！

